



に果樹園に連れて行きました。本当なら兄は  
大学で実家を離れることになっていたので、  
父の果樹園で家族4人で毎日過ごすこともも  
うないと思っっていました。兄の引越しの為  
に家族4人で東京に出かけたのですが、日に日  
に事態が悪化してしまい兄は一旦家族と奈良  
に帰ることになったのです。果樹園の手伝い  
は疲れましたが、疲労感と充実感はこの時期  
の私にとって健康面を支えてくれたと思っ  
ています。それ以外の時間は兄と食卓のテ  
ーブルで卓球をして、二人ともかなりの腕  
前になっていました。夜は夕ご飯を食べ終  
わると父に麻雀を教えるてもらい家族4人  
で「次の日の洗濯、料理、掃除、なんにも  
なし」を賭けて麻雀大会をしました。家族時  
間がいつもよりも濃く楽しかったです。しか  
し、物や人の流れが滞ることが、どれほど  
不自然かは身に沁みました。私も含め本  
当に多くの人が、当たり前だった暮らしを  
失われた事で、本当

た。 「当たり前前の暮らし」を取り戻すべくそ  
れぞれの立場や仕事で必死で頑張ってくれて  
いる大人たちの姿は本当にかっこいいと思え  
ました。 「情報」によっても気づいた事がありまし  
た。 我が家にはテレビが無いのですが、イン  
ターネットで様々な情報を得ています。 です  
がコロナについてインターネットでの情報が  
余りに多すぎて、正確な情報や真実が一体何  
なのかどんどんわからなくなりました。 溢れ  
る情報から、自分がどれを選択するのか？ 今  
まさにそのための力を養うべく「学ぶ」為  
に学校へ行っていらっしゃるんだと思いま  
した。 歴史や科学、生物の基礎知識に数学の思考法や現代  
文の読解力どれもすっかり横に繋がっていな  
ければ社会の状況を正しく理解して、どん  
どん流れてくる情報を正確に自分で判断できま  
せん。 「勉強」が自分のためになるとつくづ  
く思えるようになりました。

リモートでの勉強も良い体験でした。 授業

、  
、

はやはり、教室がいい。そう改めて思いまし  
た。他のみんなも同じ気持ちだったのだと気  
づいたのは、学校が再開した時でした。普段  
は居眠りをする子もちらほらいたりするので  
すが、本当にみんなが真剣に「授業」を受け  
ていました。先生の言葉を聞き逃すまいと。  
当たり前だった学校も授業も、大切なものだ  
ったとこの体験が思わせてくれました。  
オリピックも修学旅行も延期になり、大  
好きな嵐もファンとしてきつと、もう会う事  
ができません。コロナのせいで折れそうな気  
持ちに何度もなりました。多分、これから先  
もコロナの影響はしばらく続くと思います。  
本当にこの経験を最大限に活かせる社会に成  
長していける様にしなければいけないと思  
います。この状況下に諦めたりせず、柔軟な発  
想とユーモアを持って進める私になりたいと  
つくづく感じています。そう強く思う様にな  
ったのは、この様に予定されていた様々な行  
事が中止や延期を余儀なくされても、なんと

か違う形でも叶えてあげようと前向きに頑張  
つてくれている大人の姿を見たからです。そ  
の姿に悲壮感はなく、困難をどうやって乗り  
越えて見せようかという情熱と明るさは私に  
とって大事な見本になりました。これからも  
世界はどんどん複雑になり、様々な問題をか  
かえていくと思います。その時、自分にとつ  
て大切なものがなんなのかということや、経  
験と勉強で培った物事への判断力、見方を変  
えられる柔軟な発想力を使える精神と肉体の  
健康、少なくともこれらを自分に持てるよう  
にしていこうと思います。